

平成 2 1 年度 第 3 回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成 2 2 年 3 月 2 4 日 月曜日 午後 3 時 0 0 分 ~ 午後 6 時 0 6 分				
開催場所	函館市南茅部支所 3 階 多目的ホール				
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>(2) 平成 2 2 年度国および北海道の予定公共事業について</p> <p>(3) 東部 4 地域の学校給食費および給食回数について</p> <p>(4) 函館市尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成 2 2 年度事業計画について</p> <p>(2) 平成 2 2 年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>(1) 縄文文化交流センターの管理運営のあり方について</p> <p>(2) 次回の意見交換テーマについて</p> <p>(3) その他</p>				
出席委員	秋本委員 遠山委員 蛭谷委員	熊谷委員 木原委員 高谷委員	濱田委員 佐々木委員	竹内委員 鎌田(茂)委員	加藤委員 工藤委員 (計 1 2 名)
	・報道関係 函館新聞社			(計 1 社)	
	・傍聴者			(計 0 名)	
欠席委員	小川委員	竹原委員	坂本委員	(計 3 名)	
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 南茅部支所地域振興課長 同市民福祉課長 同産業建設課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任主事 南茅部教育事務所長 市立函館南茅部病院事務長	梅田誠治 長谷川大春 小枝精一 河合満夫 西谷光一 加我明夫 田名部洋 加我賢也	企画部計画推進室長 同地域振興課主査 教育委員会生涯学習部次長 同生涯学習部参事 同生涯学習部文化財課主査	佐藤洋一 進藤昭彦 岡崎圭子 阿部千春 猪木孝幸	(計 1 3 名)

1 開会（午後3時00分）	
事務局 (長谷川課長)	ただ今より，平成21年度第3回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p><挨拶要点></p> <p>皆様には，年度末を迎え，何かとお忙しいところ，ご出席いただき，ご苦勞様でございます。</p> <p>本日の審議会は，平成22年度を迎えるにあたり，国および北海道の予定公共事業についての概況や平成22年度事業計画の説明を受けるほか，地域振興全般に関する意見交換では，「縄文文化交流センターの管理運営のあり方について」をテーマとしての意見交換も予定しております。</p> <p>委員各位の忌憚のないご意見・ご提言をいただき，実りある審議会となることを期待して，開会のご挨拶といたします。</p>
3 支所長あいさつ	
梅田支所長	<p><挨拶要点></p> <p>本日は，何かとご多用の中，ご出席いただき，有り難うございます。</p> <p>先程，会長からお話ありましたとおり，本日の審議会では，平成22年度の事業の説明等を予定してございます。</p> <p>市議会定例会本会議が26日に予定されておりますが，予算特別委員会は昨日終わり，平成22年度予算が審議されました。</p> <p>函館市も大変厳しい財政状況にありますが，「教育立市・人材育成都市の実現」・「地域産業の振興と雇用環境の向上」の2点を重点目標として掲げ，新年度においても，「市民の安心，幸せづくり」・「地域の活力，元気づくり」・「次代を担うひとづくり」の3つの観点から施策・事業を組み立てて予算編成をしております。</p> <p>こうした中で，この審議会においても，ご審議いただく訳でございますけれども，皆様の活発なご意見をいただきたいものと思っております。</p> <p>本日は，よろしく申し上げます。</p>
4 出席委員の報告	
事務局 (長谷川課長)	出席者12人，欠席者3人，地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により，会議の成立をご報告いたします。
5 報告事項 (1) 諸般の報告	
秋本会長	日程5の報告事項について，梅田支所長から報告ののち，質疑を受けたいと思います。

梅田支所長

まず、当地域審議会の委員の交代についてです。

従前、南かやべ漁業協同組合の鎌田組合長が委員となっておりますが、諸般の事情により辞任されるということで、2月1日付けをもちまして、同漁協の専務理事であります小川正毅さんが、新しく委員となっております。

それから、市議会についてですが、2月26日から3月26日までの会期で開催されてございます。

平成22年度予算案の審議の中で、代表質問、個人質問が出され、当地域に関連するものとして、合併後の検証をどのように行うのかといった質問があり、「地域振興を図る」・「住民サービスを低下させない」ということを基本にしながらも、行財政改革の観点から、業務の効率化を図り、その中で組織機構を見直していくといった答弁がありました。

また、合併して5年が経過した中で、どの程度の事業が実施されていくのかといった質問も出され、4支所における5年間の事業費総額について、予算ベースで75億6,400万円が実施されたと答弁されました。

このうち南茅部支所管内では、水産系廃棄物処理施設の整備や現在、整備が進められている縄文文化交流センターなど、約22億6,700万円の事業が実施されている旨の答弁がなされました。

それから交通料金助成について、いつの時点で4支所管内も対象となるのかという質問がありましたが、4支所管内に制度を拡大した場合、数千万円の財源が必要となることから、今後、慎重に検討したいとの答弁がございました。

そのほか、病院事業改革プランについてや教職員住宅の空き家を活用できないのかといった質問があり、「教職員住宅が空いている状況はありつつも、異動などに対応するため、一定程度は確保したい」と答弁されました。

以上が、平成22年第1回市議会定例会の主な内容です。

次に、木直小学校、磨光小学校の統合についてですが、すでに新聞報道等でご存知かと思いますが、只今、学校教育審議会に諮問されております。

1回目の審議会は3月17日に開催されており、3月末に2回目の審議会が開催される予定で、連休明けには答申されるものと考えております。

それから道路整備の関係ですが、尾札部道路は工事が順調に進み、白尻漁港臨港道路につきましても、地元説明会が終わり、現在、公安委員会と協議している段階で、これがクリアされると、早ければ平成24年には工事に着手できるのではないかと考えております。

それと南かやべ漁協直販センターの建て替え工事が、平成22年度に行われる予定です。

また、4月1日から4支所管内の生活保護業務を湯川福祉課に集約し、それに伴う人員と事務事業の見直しに伴う分と合わせて、支所の職員が4名削減となり、4月から25名体制となります。

最後に、「住民意見交換会概要について」という資料をお配りしておりますが、昨年11月16日と24日の2回に分けて、生活環境、あるいは産業振興に関係する団体の方々にお集まりいただいて、意見交換会を開催いたしました。

その中で、漁業後継者に関することとして、漁業者の花嫁対策の一環で、漁協主催による「マリン・カップリングパーティー」が3月6日、花びしホテルで開催され、当日は4組のカップルが誕生したと伺っております。

以上で諸般の報告を終わらせていただきます。

秋本会長	報告が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
佐々木委員	生活保護業務集約にあたって、窓口サービスが低下するということはないのか？
梅田支所長	一時的に支所で相談を受けた後、湯川福祉課に連絡をいたしますし、既に生活保護を受給されている方については、湯川福祉課のケースワーカーが出向きますので、そうしたご心配はいらないと考えております。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、質疑を終了します。
(2) 平成 2 2 年度国および北海道の予定公共事業について	
秋本会長	報告事項(2) 平成 2 2 年度国および北海道の予定公共事業について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料1のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
遠山委員	道道函館南茅部線について、鉄山付近の改良工事が概ね終了となるが、他に大規模な改良を予定しているのか？ または要望があるのか？
産業建設課 (河合課長)	来年度予定しているのは、紅葉川より手前の区間における災害防除工事で、今後、大規模な改良は予定しておりません。
遠山委員	今後、縄文文化交流センターがオープンすれば、地域振興の起爆剤になるものと思われるが、道道函館南茅部線は、旧市内と当地域を結ぶ重要な路線であり、まだまだ直線化など改良を施す余地があるので、引き続き整備が図られるよう検討してほしい。
産業建設課 (河合課長)	分かりました。
秋本会長	他にありませんか？
加藤委員	川汲温泉付近は、第2工区に位置付けられていた時期もあったが、計画そのものが無くなったということか？

産業建設課 (河合課長)	用地処理の関係で目処が立っていない状況です。
加藤委員	地元として、粘り強く要望していくべきではないか？
梅田支所長	川汲温泉付近の線形改良は、地域としても大きな課題でありますので、長期的な視点で取り組んでいきたいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、質疑を終了します。
(3) 東部4地域の学校給食費および給食回数の統一について	
秋本会長	報告事項(3)東部4地域の学校給食費および給食回数の統一について、事務局から説明願います。
教育事務所 (田名部所長)	(資料2のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
佐々木委員	給食費の納入方法が年10回に統一となるが、具体的にどのように納入するのか？
教育事務所 (田名部所長)	年間の給食費を10回に分け、1回毎に引き落としされます。
秋本会長	他にありませんか？
蛭谷委員	「戸井地域については、これまでPTAが年12回徴収し納入」とあるが、これはどういう事か？
教育事務所 (田名部所長)	これまで戸井地域だけは、収納率を確保するため、PTAによる徴収を行っていましたが、今後は全て自動払込み制度に統一となるということです。
蛭谷委員	給食回数について、小学校は1年間、中学校は2年間の経過措置を設けた後、旧函館市域の回数に統一することだが、臼尻小学校のPTA会長からは経過措置を踏まえたうえで、統一するかどうか検討してほしい旨、申し入れしているのに、今回このような報告を受け、一方的な感じがする。
教育事務所 (田名部所長)	お答えする立場ではありませんが、学校給食運営委員会という組織があり、今回、新しく椴法華中学校長も委員に加わると聞いておりますので、今後、そうした意見も反映されるものと思います。

秋本会長	<p>担当部局からの答弁が得られないので不満だと思いますが、会長としても遺憾であり、今後、こうした報告事項については、担当部局の出席を求めるようよろしくお願いいたします。</p> <p>他にありませんか？</p>
竹内委員	<p>旧函館市域に給食回数を統一した根拠を教えてください。</p> <p>それと給食回数減による授業時間への影響等について、どのような対応を考えているのか？</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>給食回数については、旧函館市域に統一するという事が前提にあり、給食回数減に伴う対応としては、給食のある日にまとめて授業を行うなどの手法を考えているとのことです。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>
加藤委員	<p>学校給食運営委員会には、各学校の保護者の声が反映される仕組みになっているのか？</p>
教育事務所 (田名部所長)	<p>新しい学校給食共同調理場の運営委員会は全市的な組織となり、校長会からは小学校3名、中学校3名の計6名で、その中に椴法華中学校長が入る予定です。</p> <p>それとPTA連合会から5名、栄養士協議会、学校給食会、教育委員会からと、合わせて15名で構成されます。</p>
加藤委員	<p>全市的な組織となるのは仕方ないと思うが、行政主導でなく、地域の声を十分反映されるようにしてほしい。</p>
秋本会長	<p>答弁不足の感があるので保留事項とし、次の地域審議会で担当部局から回答願いたい。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
秋本会長	<p>他にないようですので、質疑を終了します。</p>
<p>(4) 函館市尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて</p>	
秋本会長	<p>報告事項(4) 函館市尾札部保育園等児童通園費補助要綱の見直しについて、事務局から説明願います。</p>
市民福祉課 (小枝課長)	<p>(資料3のとおり)</p>
秋本会長	<p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ありませんか？</p>

佐々木委員	現時点で、尾札部・臼尻保育園の園児は何人いるのか？ アンケートの対象が少ないのではないかな？
市民福祉課 (小枝課長)	尾札部保育園が65人、臼尻保育園が47人です。 今回のアンケートは、本制度の対象となる方に行っており、その対象者が9人だったという事です。
秋本会長	他にありませんか？
遠山委員	9人だけならアンケートではなく、対話形式の方が良かったのでは？
梅田支所長	面と向かえば答えにくい事もあると思いますので、答えやすい事を第一に考えた結果、アンケート方式を採用した次第です。
秋本会長	他にありませんか？
木原委員	通園バスの利用希望も聞けば良かったのではないかな？
梅田支所長	今後、少子化により子供の数が少なくなって、保育園を統合する必要が生じた時には、通園バスを検討しなければなりません。現在のところは特段の支障がないことから、通園バスを運行する考えはございません。
秋本会長	他にありませんか？ (特になし)
秋本会長	特に無いようですので、質疑を終了します。
6 議 題 (1) 平成22年度事業計画について	
秋本会長	日程6の議題に入ります。 (1) 平成22年度事業計画について、事務局から説明願います。
事務局 (長谷川課長)	(資料4のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？
遠山委員	生活路線バスの助成については、函館バスに対する助成なのか？ それと助成額の根拠を教えてください。
事務局 (長谷川課長)	函館バスへの助成です。 路線の計算方法については、1日の便数や乗客数の基準を満たせば、国や

<p>遠山委員</p>	<p>北海道の補助を受けられ、そうでない場合でも、市として必要な路線であれば、単独補助しております。</p> <p>その中で南茅部地域に係る補助は、約60万円となっております。</p> <p>市単独補助となっている路線は、見日地区の島歌から川汲までの路線などがあります。</p> <p>路線バスの運行を充実させるための函館バスとの協議の場はあるのか？ これだけ高齢化が進んでいる中で、高齢者の利便性にもっと配慮すべきだ と思う。</p> <p>例えば、利用者増加の対策として、バス停の数をもっと増やすなどすれば、 効果的だと思うが、そうした意見を伝える場があるのかどうか教えてほしい。</p>
<p>事務局 (長谷川課長)</p>	<p>函館バスと協議した中では、一般的な手上げバスについては、交通安全上 危険であるため認められないとのことであり、バス停を増やすという事につ いても、ダイヤ改正が必要となり多額な経費がかかるため、難しいとのこと でした。</p> <p>ただ、函館バスとしても低床バスを導入する等、高齢者対策に取り組んで いる状況です。</p>
<p>梅田支所長</p>	<p>意見を伝える場として、全市的な組織に、利用者・函館バス・行政の3者 で構成されている「生活路線バス維持協議会」があります。</p> <p>それから昨年、南茅部高校の生徒数を確保するため、古部からの便を榎法 華まで路線延長できないかお願いしましたが、対象者が2人しかおらず、採 算に見合わないため、受け入れられませんでした。</p> <p>また、過去にバス停とバス停の距離が通常よりも離れている地区があり、 そこにバス停を増やしてほしいと要望した事もありましたが、先程、ご説明 した理由により見送られています。</p> <p>そうした中で、コミュニティバスの導入も検討しておりますが、路線バス との兼ね合いもありますことから、今後、協議を進めていく予定です。</p>
<p>遠山委員</p>	<p>国土交通省が交通基本法を国会に提案し、そういう協議の場を設けて、集 落と集落を結ぶ毛細血管的な交通の方にも力を入れようとしている。</p> <p>まさに高齢化社会を迎え、高齢者が交通を享受できる仕組みを国が計画し ている中で、市としても地域に合ったビジョンを示しておいて、それに合致 するような事前の協議が必要になってくると思う。</p> <p>特に、高齢ドライバーによる交通事故防止の一環として、各自治体で高齢 者の運転免許証を返還してもらう取り組みがなされている中で、高齢者が交 通機関を利用する機会が益々増えてくると思われ、こうした交通弱者の利便 性を図るためにも協議を進めてほしい。</p>
<p>梅田支所長</p>	<p>当地域はこれまで過疎地域の指定を受けており、これまでの過疎法がハー ド事業のみ対象だったのに比べ、新過疎法ではソフト事業も対象となること で、ご要望ありました件についても対象になってくるのではないかと思 います。</p> <p>今後、詳細が分かり次第、国土交通省の動向を見ながら、検討していき</p>

	いと考えております。
遠山委員	過疎法については6年間延長となったが、今後こういった形で過疎計画を策定するのか？
企画部 (佐藤室長)	<p>今国会で従来の過疎法が改正され、通常10年の時限立法ですが、今回は6年となっております。</p> <p>旧4地域は一部過疎ですので、そのまま自動的に地域指定が継続されるとの情報です。</p> <p>先程、梅田支所長が述べたとおり、過疎法の改正に伴いまして、国の方でも制度の充実を図ることとしており、今後そうした内容が示されてくると思えます。</p> <p>過疎計画の策定につきましては、都道府県が策定方針を示し、それに基づいて、市として旧4地域の過疎計画を作っていくこととなりますが、いずれにしても平成22年度中には、何らかの動きがあると思われまますので、過疎法の詳細が分かれば、地域審議会の方にもご説明したいと考えております。</p>
秋本会長	他にありませんか？
加藤委員	<p>国への要望事項に、津軽海峡横断道路の整備とあるが、今後も要望していくのか？</p> <p>それから、水産業の振興について、漁業用機械等購入資金の融資があるが、南茅部地域分でどのくらいの利用実績があるのか？</p>
企画部 (佐藤室長)	津軽海峡横断道路の整備については、地域の要望はありますが、全市的に優先しなければならないものがありますことから、現在、市として要望事項には含めておりません。
産業建設課 (河合課長)	漁業用機械等購入資金の融資についてですが、平成21年度の南茅部地域における利用実績は30件で2,367万円となっております。
加藤委員	どのような用途に利用しているのか？
産業建設課 (河合課長)	主なものとして、船外機や洗浄機の購入等です。
加藤委員	<p>本制度は無利子の融資なのに、当地域においては、近代化資金などの制度資金の利用が一般的で、あまり普及していない感がある。</p> <p>窓口は漁協だと思うが、どのように斡旋しているのか？</p>
産業建設課 (河合課長)	漁協でどのように斡旋しているのかについては、把握しておりません。
木原委員	市の融資制度は、4年間の無利子融資で、市税を納めている方でなければ融資を受けられない。

<p>加藤委員</p> <p>産業建設課 (河合課長)</p> <p>秋本会長</p>	<p>漁協としても、支所によってばらつきはあるかもしれないが、斡旋はしている。</p> <p>せっかく有利な制度があるのだから、行政としても制度周知を働きかけていくべきではないか？</p> <p>制度の周知について努めて参りたい。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>(2) 平成22年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p>	
<p>秋本会長</p> <p>事務局 (長谷川課長)</p> <p>秋本会長</p> <p>秋本会長</p>	<p>議題(2)平成22年度地域審議会開催スケジュール(案)について、事務局から説明願います。</p> <p>(資料5のとおり説明)</p> <p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。 ここで5分間、休憩とします。</p> <p>(午後4時50分、休憩)</p> <p>(午後4時55分、再開)</p>
<p>7 地域振興に関する意見交換</p>	
<p>秋本会長</p>	<p>日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。 本日は、「縄文文化交流センターの管理運営のあり方について」のテーマに沿った意見交換をした後、その他の地域振興全般にわたる意見交換をしたいと思います。</p>
<p>(1) 縄文文化交流センターの管理運営のあり方について</p>	
<p>秋本会長</p>	<p>(1) 縄文文化交流センターの管理運営のあり方について、教育委員会</p>

	から説明があります。
教育委員会 (阿部参事)	(配付資料のとおり説明)
教育委員会 (岡崎次長)	(配付資料のとおり説明)
秋本会長	説明が終わりましたので、意見交換に入ります。 さきに私から質問させていただくが、国宝を展示する施設について、指定管理者制度を導入するという事があり得るのか？
教育委員会 (岡崎次長)	法的には認められており、他の自治体でも専門性の高い団体が、指定管理者となっている事例が見受けられ、全く指定管理者制度が馴染まないという事ではありませんが、やはり色々と高度な事が求められていくものと受け止めております。
秋本会長	特に警備の面か？
教育委員会 (岡崎次長)	それもありますし、全体的には責任という事もあるでしょうし、展示や調査研究など博物館機能の面からも求められていくものと考えております。
秋本会長	他にありませんか？
遠山委員	以前の実施計画では、指定管理者制度を検討しているとの事だったが、やはり国宝を有する博物館を、民間の運営に委ねていいものか疑問である。 当面は市がきちんと管理して、軌道に乗せるべきだと思う。 ある程度、軌道に乗った段階で、民間へ移行するのであればいいが、最初から民間にというのは、ちょっと危険ではないか？
教育委員会 (岡崎次長)	重い責任があるのではないかというご指摘については、その通りだと思いますし、国宝を展示する施設を運営すること自体、市としても初めての事業ですので、慎重に検討していきたいと考えております。
秋本会長	他にありませんか？
加藤委員	指定管理者制度を導入するという事は、垣ノ島遺跡の整備計画の段階で示されていたし、公の場でも何度か説明していたが、直営と部分委託方式に決定したという事でいいのか？
教育委員会 (岡崎次長)	まだ庁内的に決定されておられません。 種々検討している段階で、指定管理者制度にこだわらず、様々な選択肢の中から検討して参りたいと考えております。

加藤委員	<p>今年1年をかけて管理方式を検討することのだが、オープン間際になって慌ただしく物事が決まってしまう懸念もある。</p> <p>仮に指定管理者制度を導入するとした場合、その要件なり、資格審査なりと時間を要するものと思うが、果たして間に合うものか？</p>
教育委員会 (岡崎次長)	<p>指定管理者制度を導入するとした場合は、早い段階からその選定等を行えばなりませんし、債務負担という形で予算も組まなければなりませんので、当然、準備期間がそれなりにかかってくるものと思います。</p> <p>そういったことから、4、5月のうちに管理運営のあり方を庁内のまとめで、十分準備期間が設けられるようにしたいと考えております。</p>
加藤委員	<p>どの程度のスタッフを想定しているのか？</p>
教育委員会 (岡崎次長)	<p>先程ご説明しましたとおり、総務部門については直営で管理すべきと考えておりますが、業務量に応じた中で、どの位の人数が必要なのかということも、これから検討していきたいと考えております。</p>
加藤委員	<p>企画部門として、センターの運営を地域振興とどのように結びつけていくのかといったスタッフ体制が必要だと思うので、是非、検討してほしい。</p> <p>この国宝を展示する施設がまちおこしに繋がっていく事が地域の願いであり、そのためにはセンターを運営するスタッフが先導的な役割を担い、その中に地域住民も一緒になって参画していけるような形が望ましいので、是非、実現してもらいたい。</p> <p>センターの目的のひとつに、地域振興として、「縄文文化を育んだ自然環境を通して地場の水産業をPRする」と掲げられており、その実現のためには、そうした企画・立案するスタッフ体制の充実を図る必要があると思う。</p>
教育委員会 (岡崎次長)	<p>この施設が、地域と結びついた中で発展していかなければならないという地域振興の視点や来場者に対するサービスの向上といった点については、どのような管理形態であっても忘れてはいけない事だと認識しております。</p> <p>ご要望ありました企画部門を担う職員の配置や資質の向上についても、大切な事ですし、貴重なご意見として承っておきます。</p> <p>また、条例制定の際には、施設運営後も利用者や地域の方々の意見が反映されるシステムについても十分視野に入れて検討したいと考えております。</p>
加藤委員	<p>本日、副市長が出席していれば、このことを強く申し入れたかったので、非常に残念である。</p> <p>あえて紹介させていただくが、国立民族学博物館の石森教授の著書の中に、「定住人口が減っても、その地域を訪れるビジターの数を増やすことによって、地域の活性化を図ることは可能である。博物館は将来の地域社会における地域活性化装置だ」と述べている。</p> <p>また、「地域振興をマネジメントしない博物館は成功しない」とも書かれている。</p> <p>市からスタッフを派遣して、その方達がリーダーシップを発揮し、施設の運営をしてほしい。</p>

	<p>開館間際になってから、スタッフが決まって、慌ただしくスタートすることのないよう強く要望したい。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>
遠山委員	<p>ここに配属されたスタッフは、垣ノ島遺跡や大船遺跡などの調査研究にも携わるのか？</p> <p>それから、よくインターネットなどで中空土偶が大船遺跡から出土したとか、垣ノ島遺跡から出土したからセンターがそこに建つなどの誤った情報を目にする。</p> <p>逆に言えば、それだけ著保内野遺跡の知名度が低いということであり、国宝が発見された遺跡として、市がきちんと整備すべきではないか？</p> <p>南茅部縄文遺跡群として、垣ノ島、大船、著保内野の3つの遺跡が連携するような取り組みを目指すべきだと思うが、どのように考えているのか？</p>
梅田支所長	<p>本日、教育委員会に出席を要請し、縄文文化交流センターの管理運営について説明いたしました。</p> <p>従来は指定管理者制度を導入する方向で検討してきましたが、先般の市議会で世界遺産登録に向けた取り組みを進めている中で、将来的に世界の宝にもなり得る国宝の管理を、民間に委ねるといった事がどうなのかといった質問が出され、教育委員会としても直営で施設を管理する方法の検討も必要だろうということで、議会答弁した次第であり、それを踏まえての先程のご説明となりました。</p> <p>ですから、まだ決定した訳ではなく、指定管理者制度導入の考え方をもちつつも、直営で管理する方法も検討していくということです。</p> <p>私も「函館市南かやべ縄文文化創生の会」の設立当初から関わっておりまして、色々なお話を伺った中で、遠山委員のおっしゃるとおり、著保内野、垣ノ島、大船の3つの遺跡の連携をどのようにしていくのかといった部分については、大切な事だと認識しております。</p> <p>また、加藤委員から、人口が減っても交流人口を増やせば、地域の活性化になるとのお話がありましたとおり、この縄文文化交流センターがひとつの核になって、国内だけでなく海外からも人が訪れるようになることを願ってやみませんし、このセンターが地域にとって素晴らしい施設だという位置付けになっていく事を期待しております。</p> <p>ただ、ひとつ問題なのは、著保内野遺跡をPRすることにより、盗掘などの恐れもありますことから、行政としては中空土偶の出土場所について、積極的にPRしていないようです。</p> <p>これから先、具体の年度は分かりませんが、中空土偶が出土した地域一円の管理について、行政としてそれなりの手立てを講じ、どの時点で具体化していくのかといった考え方もありますので、センターを核として3つの遺跡の連携を図りながら、地域振興に繋げていくことが望ましいものと考えております。</p>
教育委員会 (阿部参事)	<p>遺跡の調査研究についてですが、このセンターの運営方法によって様々な形態が考えられ、直接、センターに配置されたスタッフが研究するという事</p>

	<p>もあるでしょうし、調査研究費を設けて、全国の大学や研究者に研究してもらう方法もあります。</p> <p>いずれにしても、この調査研究というのは、南茅部の縄文遺跡群を広くPRしていくことを重点にしており、世界遺産登録に向けた課題としても、専門的な研究を高めていくことが求められております。</p> <p>参考までに世界遺産登録については、一昨年の10月にユネスコの暫定リストに載っており、平成23年に日本版の推薦書、24年に英語版の推薦書を作成し、25年に提出、26年にユネスコの調査を受けて、27年に登録される計画で、4道県が足並みを揃えて取り組んでいる状況であります。</p> <p>平成27年には、ちょうど新幹線が函館に開通する予定で、経済効果も一層高まるものと思われれます。</p> <p>また、加藤委員がご紹介した博物館経営学を書かれた石森教授は、この縄文文化交流センターのプロポーザルの委員長で、博物館が担う地域振興という考え方に私も感銘を受けております。</p> <p>従来の日本の博物館と比べ、ヨーロッパの博物館はいつ訪れても賑わっており、こうした施設にしていければと思っております。</p> <p>そのためには調査研究をして、常に新しい情報を発信していくことが大事ですので、そうした調査研究費も設けて参りたいと考えております。</p> <p>遠山委員 先程の支所長の答弁で、盗掘があるから積極的にPRしないというのは、理由にならないと思う。</p> <p>国宝を管理する行政の責任として、やはり国宝が出土した著保内野遺跡は、市が管理し、垣ノ島、大船遺跡と併せた縄文遺跡群として保存・活用していくようお願いしたい。</p> <p>教育委員会 (阿部参事) 現在、大船遺跡が国の史跡に指定されておりますが、今後、垣ノ島遺跡が史跡に指定される予定で、教育委員会としては、南茅部縄文遺跡群ということでPRしているところであります。</p> <p>その中で、著保内野遺跡は国宝が出土した遺跡でありますことから、行政といたしましても何らかのPRに努めていきたいと考えております。</p> <p>秋本会長 他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p> <p>秋本会長 特に無いようですので、これで意見交換を終了します。</p>
<p>(2) 次回の意見交換テーマについて</p>	
秋本会長	次に、次回の意見交換テーマについて、どなたかご意見ありませんか？
加藤委員	南茅部病院について、将来的には診療所化になるのではないかと危惧しており、地域としても関心が高いと思われるので、意見交換してはどうか？
梅田支所長	皆さんが地域の医療機関として、南茅部病院をこのようにしてほしいと提

	案することは構わないと思いますし、函館市病院事業改革プランや今後の施設改修についての考え方をご説明することは出来ると思います。
南茅部病院 (加我事務長)	療養病床についても、現在、北海道の計画の中で検討を深めている状況です。 ですから、支所長が言われたとおり、地域の方々がこういう医療体制を望んでいるという事についての意見交換であれば可能だと思いますが、今後どのようになるのかといった部分になると、現在、改革プランに基づいて進めておりますので、なかなか難しいと思われます。
遠山委員	改革プランは、いつ策定されるのか？
南茅部病院 (加我事務長)	もう策定されており、25年度までの計画で、それまでに黒字を目指すということです。
遠山委員	答えられなくてもいいのではないかと？ 地域としての要望を伝えるということだけでも構わないと思う。 (賛同の声あり)
南茅部病院 (加我事務長)	市長も移動市長室で、地域医療として、病院は必要との考えを示しておりますが、経営形態やいずれ大規模改修が必要になった時に、現在の規模でいいのかといった部分については、皆さんに改めてご相談させていただきたいと述べております。
秋本会長	私も改革プランの委員をしており、その中では、選択肢のひとつとして、診療所化や管理委託といった話も出ているが、当面は現行の経営をいかにすべきかという視点で進めている。
熊谷副会長	やるならやるとして、病院局の関係者に集ってもらい、地域の思いを伝えるということでもいいのではないかと？
秋本会長	それでよろしいですか？ (賛同の声あり)
秋本会長	それでは、南茅部病院に関する意見交換を、次回のテーマとします。
(6) その他	
秋本会長	次に、その他の地域振興全般に関する意見交換を行います。 どなたかご意見ありませんか？
竹内委員	白尻会館の改修について高齢者の利用が多いので、トイレの改修を以前から要望しているが、さきの新聞報道によると、地域を活性化するためのきめ細かな予算により市内のトイレを改修するとあったので、そうした予算を活用してトイレを改修できないものか？

梅田支所長	<p>臼尻会館については施設そのものの老朽化が著しいため、改修する必要があり、その際には規模も含めて町内会さんと協議しなければなりません、22年度中に一定の協議をして、24年度から改修に手をかけられるものと考えております。</p> <p>トイレだけでも先にという事ですが、浄化槽自体を改修しなければなりませんので…。</p>
竹内委員	<p>和式の便器を洋式に取り替えるといった応急措置でもいいので、お願いしたい。</p>
梅田支所長	<p>次の支所長に引き継ぎしておきます。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p>
熊谷副会長	<p>前回の地域審議会の中で、支所長から答弁された地区長制度について、在任中に整理できるよう努力して参りたいという事と、各委員から出た意見を申し伝えたいとの答弁があり、理事の方からも11月に地域での意見交換会を開催するので、そういう事を踏まえた形の中で検討していくという方向を示していただいたが、その辺は整理されたのか？</p>
梅田支所長	<p>端的に申し上げますと、地区長制度についての考え方の整理はついていません。</p> <p>4支所地域の方々から色々な意見はございますが、ある地域では4人の支所長ではなく、4支所地域を統括する人が1人いればいいとの意見もありましたし、そうではなく4支所長がそれぞれの地域の振興を図っていくべきだとのご意見もありました。</p> <p>ただ、4支所長のほかに、さらに4支所を統括する人を置くといった2重構造は避けるべきでしょうし、行革を進めている中で人件費が増高するという事も問題がありますので、その辺の調整が難しく整理できておりませんが、西尾市長の任期があと1年という中で、今後、企画部が担っていくことになると思われます。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
秋本会長	<p>無いようですので、これで意見交換を終了します。</p> <p>以上で、本日本日予定の日程が全て終了しました。</p> <p>これをもちまして閉会いたします。</p> <p>(午後6時06分、閉会)</p>